

平成21年5月29日
九州地方整備局

発注者・受注者が協働し、契約後VEの積極的活用 をはかるための総合評価の試行状況 — 「協働両得」活動 —

九州地方整備局では、発注者と受注者が協働して、契約後VEを積極的に活用する「協働両得」試行状況についてお知らせします。

【試行状況】

平成20年12月試行開始より、契約後VEの採用件数2件、1次審査にて承認した件数1件、「協働両得」の試行件数13件、落札者の「契約後VEにつながる基本的な考え方」が採用された件数は9件です。今後、さらに契約後VEの採用を推進します。

(<http://www.qsr.mlit.go.jp/>)

九州地方整備局

企画部 技術開発調整官 くわの しゅうじ 栗野 修司 (内線3120)

技術管理課長 ひさの たかひろ 久野 隆博 (内線3311)

技術管理課課長補佐 ほり やすおす 堀 康雄 (内線3313)

電話番号：092-471-6331 (代表)

092-476-3546 (技術管理課直通)

「協働両得」の試行 ～契約後VEの活用～

「協働両得」実施フロー

【契約前】

- ・総合評価で契約後VEにつながる基本的な考え方の提案を求める
- ・提案を評価する

受注者決定 ↓

【契約後】

- ・発注者・受注者でVEの概略検討（発注者の積極的関与）



<1次審査>

- ・VE委員会で概略検討の適否を決定（受注者の提案リスク軽減）



- ・発注者・受注者で検討



- ・VE委員会で提案の内容・額の決定

工事完成 ↓

【完成後】

- ・契約後VE提案で完成した工事については、工事成績評価で加点



・国民・受注者ともコスト削減の利益を得る(協働両得)

- 独自の技術やノウハウの有効活用
- 生産性の向上や工期の短縮

〈国民のメリット〉

- 公的支出の節約
- 早期供用



〈受注者のメリット〉

- 受注者が削減額の半分を得る
- 工事成績への加点



【試行の状況】

平成20年12月試行開始より

- 契約後VEの採用件数 : 2件
 - 1次審査にて承認した件数 : 1件
 - 「協働両得」の試行件数 : 13件
 - 落札者が「契約後VEにつながる基本的な考え方」採用件数 : 9件
- 今後、さらに契約後VEの採用を推進する。

【コスト削減が達成された事例】

福岡外環状道路の擁壁工事で
構造変更により約60百万のコスト削減。

「契約後VEにつながる基本的な考え方」の状況

対象 工事数	参加者数	採用数	落札企業 採用数
13	155	83	9

■『協働両得』の試行件数

■契約後VEの試行工事

	工事名	工種	提案企業		コスト縮減額 (百万円)
1	福岡外環状道路 井尻地区(8~14BL)擁壁新設工事	一般土木	鹿島建設(株)	採用	60
2	佐賀34号 兵庫高架橋上部工工事	橋梁上部	(株)大島造船所	採用	5
3	嘉瀬川ダム本体建設(三期)工事	一般土木	鹿島・青木あすなろ・松尾特定JV	一次審査済み	

■総合評価で契約後VEにつながる基本的な考え方の提案を求め、「協働両得」の試行を行った工事

○印: 契約後VEが採用された落札企業

	工事名	工種	参加者数	採用された企業数	落札企業の契約VEの採用	
						落札企業
1	九州管区警察学校生徒寮機械設備工事	暖冷房衛生設備	16	1		(株) 大方工業所
2	九州管区警察学校生徒寮電気設備工事	電気設備	12	2		日本電設工業(株)
3	熊本3号鐙田橋上部工工事	鋼橋上部	10	2		三井造船(株)
4	赤松谷川2号床固工工事	一般土木	4	3	○	(株)フジタ
5	東九州道(県境~北川)家田第一トンネル新設工事	一般土木	20	9	○	東洋建設(株)
6	東九州道(県境~北川)古江トンネル北新設工事	一般土木	13	10	○	(株)熊谷組
7	東九州道(県境~北川)須美江トンネル新設工事	一般土木	21	12	○	(株)間組
8	東九州道(清武~北郷)猪八重トンネル北新設(一期)工事	一般土木	9	5	○	前田建設工業(株)
9	福岡3号黒崎高架橋上部工(P17~P21)工事	鋼橋上部	14	10	○	(株)宮地鐵工所
10	福岡3号黒崎高架橋上部工(P27~P30)外1橋工事	鋼橋上部	12	11	○	JSTブリッジ(株)
11	福岡3号黒崎高架橋上部工(P35~P38)外1橋工事	鋼橋上部	10	9	○	三井造船(株)
12	西境川水門新設工事	一般土木	11	8	○	(株)森組
13	長崎497号佐世保高架橋防護工設置(1工区)工事	維持修繕	3	1		日本乾溜工業(株)
合計			155	83	9	